

# 食事ができることに感謝の気持ちをもちましょう

3月11日の東日本大震災から、4年経とうとしています。

～皆さんの口に入る給食は、色々な人々のおかげで成り立っています～



野菜の生産者

久寺家中まで食材を  
運んでくれる  
業者の方



献立を考える栄養教諭



調理員さん



給食当番



給食費を払う保護者の方



○ 震災直後は、ガソリン等の燃料不足や流通経路の遮断、食品工場の破損等で食料や輸送等のライフラインが止まってしまいました。久寺家中の給食もパンと牛乳だけの簡易給食となりましたが、給食納入業者さんのおかげで、スーパーやコンビニへ行っても食料不足の中、大切な昼食となりました。日常あたり前のように食べている食事ですが、もう一度感謝の気持ちを持ちましょう！

## 我孫子市の学校給食のお米



我孫子市の学校給食では、1年を通じて市内で獲れたコシヒカリを使用しています。

お米は玄米の状態です。東葛ふたば農協の貯蔵庫で冷蔵保管されています。

毎週必要な分ずつ精米して学校に届けられるため、いつも美味しいご飯を食べることができます。

## 卒業する3年生の皆さんへ



久寺家中学校での、3年間 の給食はいかがでしたか？

小学校、中学校での義務教育9年間で、毎日給食には牛乳を出してました。これは、日本だけの事で、他国から給食の視察に来た人々は、素晴らしいことだと驚くそうです。10代は、カルシウムを骨にどんどん貯蔵し、密度の高い骨を作っていく時期です。今から毎日牛乳を飲むことで、骨粗鬆症などになりにくい丈夫な骨ができます。 高校生になっても、忘れずに牛乳を飲んで下さいね！

**毎日2本が目標ですよ！**

